Monthly Report of Faculty of Architecture

Since 1966-2020->>>

発行:東北工大建築学部 学部長 石井敏

Pick Up News ■新型コロナウイルス感染症も小康状態、あの感染拡大は何だったのか?と思わせる状況です。ワクチンや マスクの効果でしょうか。このまま収まり、終わるような幻覚を持ってしまいますが、ウイルスが存在する以上必ずまた感染が拡大する時がく るそうです。引き続き感染予防対策には心がけて日々を過ごしましょう。秋も深まってきました。4年生、M2は卒業・修了に向けて、ギアを1 段も2段も上げて行くところに来ました。泣いても笑ってもあと4ヶ月ほどで学生生活が終わります。悔いを残さないように取り組んで下さい。 これからの時間が、将来大学生活を振り返った時に記憶に残る時間となります。3年生は研究室配属も終わり進路を考える時期、2年生は 進級を目の前に緊張感を持って学修に励む時期、そして1年生は大学の暦の後半を実感する時ですね。それぞれ頑張って下さい。



21.10.15 Fri. - 10.20 Wed. んだいメディアテーク 6F ギャラリー a : 00 - 19: 00 (最終日は 16: 00 終了)

主催:東北工業大学 共催:東北工業大学課題学科提展学科 接触: 当該点、自己的、自己報告が当成支援が、自己推定監治会支援が MMK Gentam 20 (Apple MCR)を対象としていませます。 第1 (本力など BME) (Apple MCR)を対象としていませます。 第2 (本力など BME) (Apple MCR) (本力など CR) (表現を設計 年期の 会別: 本力なが BME) (Apple MCR) (本力など CR) (本



15 東北建築

東

北

の

建

築

を

描

<

展

「東北の建築を描く展」は15回目を迎 えました。今年も、全国から472点ご応 募をいただきました。審査員も一新し、 新たな体制での審査の結果、一般、 高校・中学・小学各部門の賞が決定し ました。また、入選作品はせんだいメ ディアテークで展覧会も開催しました。





7月から5回にわたって、建設中の実験・教育棟 建設工事に合わせて設計および施工会社のご 協力をいただき講義と現場見学セットの建築生 <mark>産特別プログラム</mark>を行っています。10月に入り、 基礎工事から鉄骨工事にうつり、建物の姿が見 えるようになってきました。第3回の見学会で 、鉄骨工事の概要を学んだ後、現場にて鉄骨 の建方やクレーンなどを見学しました。



例年入学直後に行っ ている1年生のワ クショップですが今年 度はCOVID-19のため 7月に実施、後期開 始直後に表彰式を行

【予告】

Lecture for young

architects

Vol.09

11/19

建築家

Vol.10

12/18

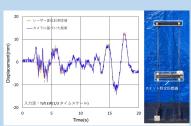
建築家

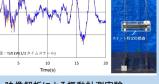
(公財)鹿児島県住宅・建築総合センター主催の第2回「かごしま空き 家活用コンテスト」~空き家を地域の宝に!~に石井研の4年生3名 が挑戦。「アイディア部門」で見事、最優秀賞を受賞しました。鹿児島 県の奄美大島大和村でのフィールドワークをベースに介護施設の機 能を村の集落の空き家に展開していく提案です。実際に大和村で進 めているプロジェクトをベースに組み立てた案でした。大和村、近畿 大学山口研究室、京都大学三浦研究室などと協働で進めているプロ ジェクトで、多くの方のご協力をいただきました。受賞した<mark>小野寺萌佳</mark> <mark>さん、佐藤美侑子さん、平賀萌絵さん</mark>、おめでとうございます。



学科公式instagram公開中。建築学科の今を写真で届けています。

曹研究室のありのままの姿を紹介します。新メ ンバーの3年生を含めて18名の学生が在籍しています。研究室はとて も楽しくて良い場所です。講義の合間や、何をすればいいかわからな い時は、研究室に集まるくらい居心地が良いです!ここだけの話、研 究室のテレビでマリオカートをしたこともあります。曹先生も優しくて良 い人で困った時は助けてくれます。そんな曹研究室は、建築に人工 知能(AI)を取り込む技術を研究しています。カタカタと音を鳴らしなが ら、各チームPCと向き合っています。PC操作も学べるので、これから の未来を見据えてもとても良い経験かと思います!(4年大友滉介)





映像解析による振動計測実験

画像検出技術を用いた道 路標識マップの自動生成



3年 佐伯 泰河 くん 翻 常葉学園菊川高校 出身

大学生活も残り1年半。モノづくりに興味を持ち、建築を学びはじめてから あっという間に3年が経とうとしています。初めは、建築について右も左もわからない状態で講義や設計につ いていくのに必死でしたが、講演会や相談にのってくださる教授・先輩方の支えもあり、日々発見と学びを 繰り返しています。この2年、コロナウイルスの影響により1年次と比べ、生活の変化から色々な面で考えさ せられる毎日でもありました。これからも環境・生活など様々な変化がある中で、気候や地震などの自然災 害に順応できる建築や幅広い年齢層のニーズに応えられる建築を、残りの大学生活やその先の未来でも学び 続け、生活スタイルにあった快適さを提供できる人になりたいと思います。



2年 海道 遥佳 さん 宮城第一高校 出身

Pick Up Student 長かった夏休みも終わり後期授業が始まりました。必修科目ばかりだった 今までに比べ選択科目が増え、何を学びたいのかを選択し考える機会が増えたように感じます。入学当初は 意匠系に惹かれていましたが、様々な分野を学んでいく中、他の専門分野にも興味を持ち始めました。建築 は多くの分野が集まっているためどの分野を選ぶかによって方向性が変わり、3年生になるとコース選択や、 将来に向けて様々な選択に迫られます。私はまだ何をしたいのかはっきりしていないため納得のいく選択が できるように、何に興味があるのかをしっかり理解したいです。そのためにも、授業や課題を受動的にこな すのではなく、一つひとつの学びを大切に勉学に励みたいと思います。